


2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

世界に希望を生み出そう

●会長 中島 祐爾
●幹事 緒方 公一

 No.1843 令和 05 年 12 月 13 日 第 20 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「奉仕の理想」

(ソングリーダー 古田哲朗)

■会長の時間 (会長 中島祐爾)



ロータリーの親睦 “fellowship”

ロータリーの親睦を正しく理解するには

acquaintance, friendship, fellowship 三つの違いを知っておかなければなりません。

ロータリークラブは「同じ目的と理念をもつ組織」である以上、ロータリアン同士の間柄は、acquaintance や friendship ではなく fellowship であるということです。

すなわち「ロータリーの親睦 (fellowship) とは単なる友情ではなく、ロータリーの志を共にするもの同士の仲間意識」ということとなります。

1923-1924年のRI会長ガイ・ガンディガーは「ロータリーの親睦」とは“ロータリーという苗木が成長するために、その根に栄養を与えてくれる土壌である”と述べています。

言い換えれば

ロータリーに入会し、acquaintance (知り合い程度の仲間) が friendship (友情) で繋がり、やがて fellowship (志を同じくする仲間) となり、議論し合い、切磋琢磨し、協力しながら、ロータリーの理想を目指し、うちのクラブでいえばこれから作るクラブ戦略計画を遂行しながら仲間意識を高め合うことが「ロータリーの親睦」であるという風に考えます。

苗木は土壌が悪ければ十分に育ちませんが、土壌が良ければ立派に育ちます。したがってロータリーという苗木の成長、発展は“ロータリーの親睦”という土壌にかかっているといえるでしょう。こうしたRI会長の考え方がロータリーに浸透していったからこそ、

「ロータリーは、親睦こそが第一」とか「親睦なくして奉仕なし」とかの言葉が使われていると思います。

但し、会員同士の親睦を重視するあまり、「ロータリーの良き親睦こそが、ロータリーのすべてである」というのは違います。「親睦」はとても大事ではありますが、目的ではありませんし、全てでもありません。そこは間違わないようにしましょう。

1947-1948年度RI会長ケンドリック・ガーンシーは、ロータリーの本質とも言うべき「入りて学び、出でて奉仕せよ」という言葉を残しました。

これに土壌と苗木の例えをしたガイ・ガンディガーRI会長の考えを当てはめれば、みんなが情報やいろんな意見交換し語り合い、好意と友情を深め、奉仕の心を育て高め合うというこの例会こそが「親睦という名の土壌」だということになると思います。

そして、例会で高められた奉仕の心で、家庭・職場・地域社会において、より良い奉仕の実践するロータリアンが増えていくこと、それが「ロータリーという苗木の成長」になります。

だからこそ、ロータリーは①ロータリアン同士の親睦を基盤に、②立派なロータリアンを育てながら、③価値ある奉仕を通じて、社会に貢献する世界的な団体 なのです。

ロータリーには食事がつきものです。例会・歓迎会・家族会・懇親会など、ただの食事や宴会だけなら“friendship”の間柄でもいいですが、それが“fellowship”を築き深め合うものでなければ、ロータリーの親睦“fellowship”とは言えません。

「楽しいだけがロータリーではない。しかし、楽しくなければロータリーではない。」

みなさんもそう思われると思います。私も同感です。

「楽しいだけなら“friendship”だけど、ロータリーは“friendship”を超えた“fellowship”だからこそ本当に楽しい」という風を感じています。

堅苦しい真面目な話になりました。

■幹事報告 (幹事 緒方公一)

■クラブより

1)

膳所和彦 ガバナー、林明 地区ロータリー財団部門長より、補助金管理セミナーの案内。

日時 2024年1月27日 (土) 13:00 ~ 16:10

会場 益城町文化会館

2)

林明 地区R財団部門長、彌富照皇 地区グローバル補助金・ポリオプラス委員長より、グローバル補助金奨学生受け入れクラブ募集のお知らせ。

(1) 奨学生予定者

・早稲田大学国際教養学部 在学中 (22歳)

留学先 ロンドン大学 期間 2024.9 ~ 2025.8 (1カ年)



(2) 奨学生予定者

・SOAS University of London 在学中 (35歳)

留学先 King's College London 期間 2024.9～2025.8 (1カ年)

3)

中津RCより、創立70周年記念式典・祝賀会の案内。

日時 2024年3月2日(日) 15:00～式典、
18:00～祝賀会

会場 ヴィラルーチェ 大分県中津市東本町1

登録料 12,000円

4)

2022～2023年度地区RYLA委員会より、
RYLAセミナー報告書。

5)

慈愛園子供ホームより、クリスマス会の案内。

日時 2023年12月23日(土) 15:00～17:00

場所 日本福音ルーテル神水協会

6)

児童養護施設藤崎台童園より、クリスマス会の案内。

日時 2023年12月25日(月) 16:30～発表、
18:00～食事会

■クラブより

1)

第6回定例理事会報告。

2)

次週12月20日(水)例会は、18:30～年忘れ家族会とな
っております。

12月27日(水)、1月3日(水)は休会、1月10日(水)例会
は1月5日(金)熊本市域RC新春合同例会に変更して開催とな
っております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

■今後の地区行事

2024	1月27日 (土)	補助金管理セミナー	熊本県 益城郡益城町	益城町文化会館
		案内中		

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 白木誠一)

12月のテーマは疾病予防と治療月間

「認知症を知り、共に生きる地域づくり」
のテーマとなっています。

世界一の長寿国・日本。65歳以上の人口は3627万人で人口の
29.1%になります。

高齢者人口の増加に伴い、65歳以上の認知症の発症者数は600万
人に達しています。

また、警察庁によると、認知症が原因で行方不明になった人は昨年



1年間で過去最多の約1.9万人。そのまま事故などで命を落とす人
もいます。

ある保険会社のアンケートでは自分になりたくない病気、家族になっ
てほしくない病気のトップが認知症でした。認知症とは長い年月を
かけ脳の中にアミロイドβというたんぱく質がたまることにより、
記憶障害がおきるとされています。

ロータリーの友で「ロータリアンは比較的認知症になりにくい」と
言われる人もいますが、ロータリー活動に参加し、体を動かすこと
も認知症予防に貢献しているのではありませんかとされていました。

ある時、私が道を歩いていると、どうも様子がおかしい人がいたので「ど
うかしましたか?」と尋ねると「帰り道がわからないんですよ」とはっ
きり言われたので、病院まで連れていきました。

そういう社会状況を考えると、皆さんも周りの状況に気を配ること
も、ロータリアンの大事な使命ではないかと思います。

私の経験談ですが、20年くらい前の話ですが、ある時温泉センター
に義父を連れて行った時の話ですが、風呂から上がって来た時に「自
分の下着が判らない」と言い始めて、バタバタしました。その時始
めて認知症に気づき、義父も介護入院が必要になってきた時期がき
きました。

そういう事もあり、私が思っていた認知症とはボーッとしている症
状なのかなと思っていましたが、認知症の人とは話してもすぐには
判らない病気だとその時初めて認識しました。

私も年とともに、忘れ物が多くなり認知症が出てきたのかなと時々
思います。私の義父はよくメモをとっていました。あるお医者さんが、
メモをみて思い出したら、まだ大丈夫ということだそうです。メモ
を見て、書いたメモを思い出せない時は要注意かもしれませんねと
いわれました。

認知症を知りと言うテーマですが76歳という年になるとつくづく
感じます。

■委員会報告

(社会奉仕担当 宮川義行)

様々な社会奉仕活動へのご協力ありがと
うございました。



■委員会報告

(親睦・スマイル担当 松岡泰光)

家族例会オークション出品の御礼



■出席報告

(出席・プログラム担当 松田和成)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
11月29日	43 (免3) 40	26	1	27	67.50
12月13日	42 (免2) 10	31 Zoom 1			77.50

☆退会 11月30日 矢野敬之

☆出席免除

11月29日～12月6日

住江正治 島村徹男 志賀重人

12月13日

住江正治 島村徹男

☆欠席者(13名)

11月29日 出先教明、井村宣敏、川崎直樹、前田日出夫、松尾 浩、西田智史、潮谷愛一、堤 勝也、渡邊俊一郎、山本浩之、山坂哲生、矢野敬之、小野川善久



■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 西田智史)



◎沼田敏雄 10,000円
健康スマイル。



◎彌富照皇 5,000円
施設に絵本の寄付、お菓子の差し入れ、そしてソフト面でのサポートなど、色々お世話になりました。お礼を申し上げたくてスマイルをしました。来年も宜しくお願いします。



◎宮川義行 4,000円
今年も1年間ありがとうございました。2月15日、脳梗塞の手術をした時はロータリーを続けられないと覚悟しました。佐野さんが体調を崩されて復帰されたその日に呼ばれました。「もし例会中に僕が倒れたら後の面倒をみてくれんかね」「はい分かりました」「よかった。これで安心して例会に出てこれる」その半年後。例会の翌日に亡くなられます。その半年間、僕は緊張の連続でした。常に佐野さんの動向を伺っていました。佐野さんのロータリーに向かう姿勢を思い出す度に、僕も必要とされる間はこの東南ロータリーで頑張っていきたいと思います。僕が倒れた時は、志賀会長！お願いします。冗談です。



◎中島祐爾 2,000円
久しぶりに志賀さんのお顔を拝見して良かったです。いつもビールの注文いただいておりますのでお元気とはわかっていますが、実際お顔を見ると安心します。また元気に出席してください。

■クラブ協議会 委員会活動 半期報告

○クラブ管理運営委員会 村瀬直久 委員長

・親睦・スマイル 担当委員 松岡泰光 会員



①親睦 各種行事を通して、会員及び会員家族との親睦を図る

7月 5日 第1回約束の日
19日 新年度家族会
8月 2日 第2回約束の日ビアガー電

20～21日 熊本東南ロータリークラブ ゴルフ部会
27日 日帰り親睦家族旅行 例会
9月 6日 第3回約束の日
10月 4日 松元会員歓迎会
18日 直前会長・幹事懇労会
29日 秋のBBQ大会 in 内田信行会員宅
11月13日 直前会長とりきりゴルフ大会
12月20日 年忘れ・クリスマス家族会

②スマイル 11月 29日 現在 104件 48万円

・出席・プログラム 担当委員 松田和成 会員

①出席 例会への出欠及び zoom 参加の事前確認

出席率	7月 5日	8月 2日	9月 6日	10月 4日	11月 1日	12月 20日	平均
	85.71	76.19	80.49	85.37	80.00	76.92	80.19 (11月29日集計分)
	12日 88.10	23日 80.48	13日 82.93	11日 82.93	8日 77.50	29日 76.92	
	19日 83.22	27日 68.29	27日 80.49	18日 82.93	15日 82.50		
	26日 73.81	9月 6日 80.49	10月 4日 85.37	25日 75.61			

②プログラム 各委員会と連携し外部・内部卓話を依頼

外部卓話

8月 2日	紅葉谷 昌代 様	地区会員増強拡大部門委員
10月 4日	ソウ ウ ゼン 君	米山奨学生
18日	宮田真二 様	熊本東南RAC前会長
25日	潮谷義子 様	認定特定非営利法人 スペシャルオリンピック日本・熊本 理事長
11月 8日	天草ショーゴ 様	天草サーカスの活動について
29日	松村尚美 様	熊本少年友の会 (職親の会事務局)
12月 6日	追立 武 様	社会奉仕部門長

内部卓話

7月 5日	中島祐爾 会長	新年度方針
9月 13日	堤 勝也 会員	ラオス視察報告
27日	西田智史 会員	会報・雑誌委員会 ロータリーの友
10月 11日	山田公也 会員	米山奨学生について
11月 1日	武末直大 会員	ロータリー財団について

①会報 週報の編集及び発行(委員会活動等を幅広く掲載し情報発信)

②雑誌 「ロータリーの友」紹介

ロータリー奉仕月間記事紹介

7月 母子の健康月間

8月 会員増強拡・新クラブ結成推進月間

9月 基本的教育と識字率向上月間

ロータリーの友月間(日本独自に定めた月間)

10月 地域社会の経済発展月間

米山月間(日本独自に定めた月間)

11月 ロータリー財団月間

12月 疾病予防と治療月間

社会奉仕月間

(熊本東南ロータリークラブが独自に定めた月間)

各月の注目記事紹介

7月 RI 会長紹介「EIHOS NIO ACION 倫理観を実践に移す」

村木厚子さん「女性がより活躍できる組織・社会づくり」

9月 「ロータリーの友」を真摯から探る。毎月の雑誌が作られるまで

11月 緒方貞子さん「UNCHRの上司、そして財団奨学生の先輩」

・ロータリー情報 担当委員 鈴木義親 会員
潮谷愛一 会員
松本 繁 会員
白木誠一 会員

各回 担当委員で情報発信

○会員増強委員会 前田日出夫 委員長

今期、会員増強委員長になり、何をしたらいいか思い悩んでいた時、5月に大分の日田市で研修会があって、会員増強のコーナーでEクラブの紅葉谷さんの話があり、これだなあと思い、ぜひ我がクラブに出前セミナーに来て欲しいことを伝え、8月に卓話をさせていただきました。紅葉谷さんの話は、3年以上もロータリーに誘われてEクラブに入ったという話で、この頃、もう一人我がクラブに卓話に呼びたいと思った人がガバナーエレクトの三村さんです。この時の三村さんの話は、簡単に一言で言いますと、ハイか Yes でガバナーになったという話でした。予定では来年の2月に卓話をさせていただきます。最後にあと一人、今年気になった人がいます。我が東南ロータリークラブの小畑会員です。コロナ禍の3年あまり、普通だったらクラブを辞めてもおかしくないのに、どうやってこのコロナ禍を乗り切ってこられたのか、逆に言うと、会員増強の話にも繋がるのではないかと思います。ぜひ、小畑会員の時間が取れた時にでも話を聞きたいと思っています。それから今年度後半の取り組みといたしまして、ロータリークラブ体験月間といたしました、ロータリークラブに興味のある人に、入る、入らないは別として、例会に体験参加を促してみてもはどうでしょうか



○奉仕プロジェクト委員会 山田公也 委員長

姉妹クラブ 福井学 委員
社会奉仕 宮川義行 委員
国際奉仕 小畑成司 委員



○長期戦略委員会 永野昭一 委員長

1. 活動報告

1) 2023/10/18(水) 13:30 ~ 第1回長期戦略委員会開催
委員間での長期戦略についての意見交換

2) 2023/11/15(水) 年次総会にて会員全員にて意見交換予定でしたが、2024/2へ変更

3) 委員会内にグローバル補助金委員会を設置

板橋南区扶輪社とのグローバル補助金(援助国)として参加決定
当クラブ主体のグローバル補助金事業検討開始

4) 各委員会に今後3年の長期計画についてまとめていただいています。(2023/12末まで)
(長期戦略計画に盛り込みたいと考えています。)

2.2024/01以降(残り半期)の活動予定

1) クラブフォーラムにて会員全員にて意見交換開催予定(2024/2月)

2) 長期戦略計画書の作成(3年後まで)

■点鐘

編集 松尾 浩

ロータリー国際大会の会場となるマリーナベイ・サンズ(Marina Bay Sands)のサンズ・エキスポ&コンベンションセンター(Sands Expo and Convention Centre)

